

防災に係る調査・研究の収集範囲・収集方法

■ 防災に係る調査・研究の収集範囲

- 収集範囲について
 - 自然災害全般（地震、津波、火山、風水害、土砂災害）にかかる防災に関する調査・研究を対象
 - 【防災に関する調査・研究】
 - ・発生メカニズム、原理に係る調査・研究
 - ・観測・予測、被害想定に係る調査・研究
 - ・社会インフラ等の自然災害対策に係る調査・研究
 - ・各種防災計画、組織・人材マネジメントに係る調査・研究
 - ・災害情報ネットワーク、情報通信に係る調査・研究
- 防災と他の領域に跨るような調査・研究の扱いをどうするか。
(防災教育、災害医療、地球温暖化など)
- 収集対象の機関をどうするか
(私立大学、民間における調査・研究などの扱いをどうするか)

等

■ 防災に係る調査・研究の収集方法

- 収集方法の例
 - ・ 予算の観点から【科研費・JST・SIPなど】
 - ・ 論文（検索データベース）の観点から【C i N i i など】
 - ・ 組織の観点から【学会、各省庁（研究機関）など】
- ※ 収集単位をどうするか
(プロジェクト単位（研究課題単位） / 論文単位 / 研究者単位)
- ※ 過去に終わった調査研究の扱いをどうするか
(過去に終わった事業としてはS56～H22 科学技術振興調整費などがある)

(参考) 科学研究費助成事業データベースの掲載情報

- ・ 研究課題名、研究課題番号
- ・ 代表者、研究分担者
- ・ 研究課題基本情報（研究期間、研究分野、審査区分、研究種目、研究機関）
- ・ 研究概要
- ・ 発表文献

等